

令和4年5月25日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所

中部インフラDXセンターは6月から**常時オープン**します ー 中部のインフラ分野のDXを担う人材育成の拠点 ー

国土交通省では、「コロナ禍に対応した新しい仕事の進め方・デジタル化による建設業の仕事改革」とした取組の一環とし、インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しております。昨年5月に「中部インフラDXセンター」（名古屋市東区）を開所しましたが、さらなるインフラDX分野の推進に向けた人材育成を目的として、中部インフラDXセンター（体験エリア）を常時オープンします。このたび、常時オープンするに先立ちまして、報道関係者に体験エリア施設のご案内します。

1. 日 時

令和4年5月30日（月） 10:00～12:00

2. 場 所

名古屋市東区大幸南1-1-15

中部地方整備局中部技術事務所内 中部インフラDXセンター（体験エリア）

3. 添付資料

別添1 取材登録票

別添2 施設紹介

4. その他

●当日の内覧

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、マスクの着用、事前の検温にご協力をお願いします。です。取材を希望される報道関係者におかれましては、

5月27日（金）17時までに取材登録書（別添1）をFAXにて送付願います。

なお、当日は中部インフラDXセンター玄関にて 9:50から受付を行います。

当日配布資料は、施設概要資料・施設パンフレット等を予定しています。

5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副 所 長 宮原 敏（みやはら さとし）

技術活用・人材育成課長 内藤 元弥（ないとう もとや）

（技術活用・人材育成課） TEL：052-723-5704

FAX：052-723-5790

「中部インフラ DX センター」取材登録票

- 取材を希望される報道機関におかれましては、事前のご登録をお願いします。
登録は本登録票に記入いただき、期限までに下記へ FAX で送付ください。
- 取材希望の状況等により、人数を調整させていただく場合があります。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため換気等の対策に努めておりますが、取材にあたりましては、マスクの着用、事前の検温をお願いします。

送付先中部地方整備局 中部技術事務所 技術活用・人材育成課

FAX 番号：052-723-5790

送付期限 5月27日（金）17時

（下記にご記入の上、ファクシミリにて送付をお願いします）

報道機関名
ご氏名 フリガナ
予定人数
連絡先（電話番号）

中部インフラDXセンター（体験エリア）に来場を！ ～6月より週4日（火～金曜:10時～16時）常時オープン～

インフラ分野のDXを担う人材育成の拠点として、令和3年5月に中部技術事務所構内に開所したインフラDXセンターは、体験エリア（1F）と研修エリア（2F）で構成されており、体験エリアでは、DXに関する様々な最新機器等を実際に見て触って体験頂ける施設となっています。

6月より、より広く利用頂けるように、週4日（火～金曜：10時～16時）常時オープンしますので、名古屋市内にご用の際には、是非、お立ち寄り下さい。

※各設備の体験・説明が必要な場合は事前予約願います。

（施設の見学のみの場合は事前予約の必要はありません。）

【お問合せ先】

技術活用・人材育成課 E-mail : cbr-dxk-cg@mlit.go.jp TEL (052) 723-5704

中部インフラ DXセンター

【所在地】〒461-0047

名古屋市東区大幸南1丁目1番15号（中部技術事務所構内）

【アクセス】地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」で下車、
1番出口より徒歩1分



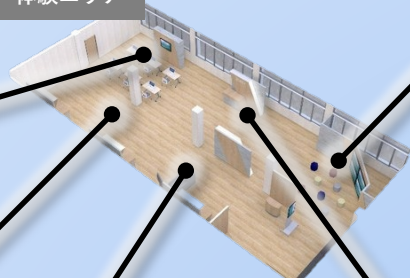
【施設紹介】

3次元設計体験



3次元の設計ソフトが使えるPCがあり、3次元設計データを触る体験ができます。小規模な研修、自習スペースとしても利用できます。

1階 体験エリア

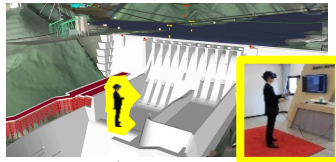


事例紹介等を動画で紹介



大型モニターによるWeb会議やパネルディスカッションもできます。

VR（仮想現実）体験



3次元設計データで作られた空間へ入る体験ができます。不具合の有無や完成したイメージの確認、安全対策の検討などの体験ができます。

遠隔操作技術紹介



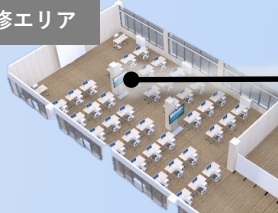
危険な場所など離れた安全な場所から、遠隔で建設機械を操作する技術を紹介しています。

AR（拡張現実）体験



現地で簡単、安全に図面などのデータ確認ができる体験として、埋設物が風景と重ね合わせて表示される端末やスマートグラス（カメラ付眼鏡型表示端末）の体験ができます。

2階 研修エリア



研修エリア



3次元の設計ソフトが使えるPCや大型モニター、スクリーンのある研修エリアです。

高速・大容量通信設備を用いて、災害復旧では現地に即時に高度な技術支援も行う施設です。